

Medical Management Specialist MMS NEWS

2013 10月号

発行/一般社団法人 日本医療経営実践協会 (JMMPA) 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F 編集/日本医療企画 毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/



全国大会、初日に登壇される3人の講演者(左から森田直行氏、園田定彦氏、神坂登世子氏)。経営の第一線で、自身の信念を力強く貫いてきた方々のメッセージは、来場する医療経営士に向けてのこれ以上ないエールとなるだろう

特集◆第2回「全国医療経営士実践研究大会」福岡大会開催直前!

「医療大変革期に医療経営士がなすべきこととは?」 全国の精鋭による活発な議論を期待

第2回「全国医療経営士実践研究大会」が11月16日(土)、17日(日)の両日、福岡市の都久志会館で開催される。今回のテーマは「地方発! 医療経営士がつくる新病院経営モデル—医療大変革期にむけた地域医療活性化と連携システムの構築—」。大会初の地方開催で、各地からの医療経営士の参加が期待される。今号では、第2回「全国医療経営士実践研究大会」の見どころを紹介する。

「アメーバ経営」失敗学など 多様な経営哲学を学ぶ

第2回「全国医療経営士実践研究大会」初日は、森田直行氏(京セラマネジメンタル代表取締役会長)の基調講演「医療機関におけるアメーバ経営」で開幕する。

森田氏は京セラ創生期に入社し、稲盛和夫氏からアメーバ経営を直伝された人物。「アメーバ経営」コンサルティンク事業を指揮するとともに、JAL再建にあたる稲盛氏を傍らで支えた。今回の講演では、会社組織を小集団(アメーバ)に分け、各アメーバのリーダーが計画を立てメンバー全員で目標を達成していく「アメーバ経営」の理論と、医療機関での展開について講演していたと予定となっている。部門別経営に頭を悩ませる医療経営士に気づきを与える、示唆に富んだ内容となるだろう。

特別講演では園田定彦氏(特定医療法人友愛会理事長)が、「医療機関版失敗学」のススメのテーマで登壇。宮崎県小林市の野尻町にある野尻中央病院に

「失敗学」を取り入れた経緯に加え、経営マネジメントシステムの導入、組織風土改革による職員や地域住民の満足度向上への取り組みについての講演は、現場でさまざまな壁にぶつかっている医療経営士にとって、一筋の未来を示す羅針盤となるのではないか。

また、神坂登世子氏(国際医療福祉大学教授、前福岡県看護協会会長)は「看護部からみた医療経営」をテーマに、医療経営に貢献する看護部育成法を伝

授。自身が病院の副院長として活動した経験をもとに、「看護部だけでなく、病院全体を見て経営」に役立てる看護部トップを育てるためにどのような働きが必要かを、実践例も交えて話していた。多くのコミュニケーションフとのコミュニケーションに苦労している医療経営士は少なくないはず。神坂氏の講演からは、相手への理解不足から生まれるコミュニケーションのヒントを見出すことができるだろう。

また、2日目には、西山幸雄氏(山口県厚生農業協同組合連合会代表理事専務)が「これからの時代に求められる医療経営士像」について講演。医療経営士の未来像が描き出されることが期待される。来場する皆様には、講演者の言葉のなかから、1つでも2つでも自分を成長させるきっかけをつかんでいただきたい。

「2025年の病院モデルとはをテーマに多様な立場からの議論に期待」 シンポジウムは「2025年に生き残るための新病院経営モデル」をテーマに、3人のシンポジストが登壇する。朝戸幹雄氏(医療法人愛誠会昭南病院院長・鹿児島市)は、「病院の活性化は職員満足

度アップがカギ」の視点から、近藤正幸氏(社会医療法人近森会理事長・高知市)は、「医療機関生き残りのための方策」についての持論を展開する。那須繁氏(医療法人財団博愛会理事長・福岡市)は、医療機関で初めて「DBJ健康経営格付」を取得した経験を踏まえ、仕事に対する満足感や職場への帰属意識を高めることが、メンタル不調の予防につながるなどの発表を行う予定。独自の発想に基づき、医療経営の現場で実践を重ねてきた第一人者たちの言葉が、日頃の仕事の枠を越えた、新たな発想の源泉となるかもしれない。

第2回「全国医療経営士実践研究大会」福岡大会 地方発! 「医療経営士がつくる新病院経営モデル」 —医療大変革期にむけた地域医療活性化と連携システムの構築—

開催日時 2013年11月16日(土) 13:00~17:30 *終了後懇親会を開催します 17日(日) 9:30~18:00 場所 都久志会館(福岡県福岡市中央区天神4-8-10) 後援 厚生労働省、日本医師会、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会、全国自治体病院協議会、全国公私立病院連盟 お申し込み・プログラム詳細は、ホームページをご覧ください。

Table with 2 columns: Date and Program. 16日(土) includes基調講演「医療機関におけるアメーバ経営」 by 森田直行氏, 特別講演(1)「医療機関版失敗学」 by 園田定彦氏, 特別講演(2)「看護部からみた医療経営」 by 神坂登世子氏, and パネルディスカッション「2025年に生き残るための新病院経営モデル」 by 橋爪章氏. 17日(日) includes講演「これからの時代に求められる医療経営士像」 by 西山幸雄氏 and 医療経営士による演題発表.

特集◆第2回「全国医療経営士実践研究大会」福岡大会開催直前!

医療大改革時代にどのようなように動くべきか 医療経営士として提言できる大会に

第2回「全国医療経営士実践研究大会」大会運営委員長 日本医療経営実践協会九州支部支部長 橋爪 章

九州・福岡で開催される、第2回全国医療経営士実践研究大会の大会運営委員長を務めるのは、地元福岡県に位置する保健医療経営大学学長でもあり、日本医療経営実践協会九州支部支部長を務める橋爪章氏。その橋爪氏から届いた、今大会への想いを込めたメッセージを紹介する。

初の地方開催となる

第2回「全国医療経営士実践研究大会」を、福岡の地で開催できることを誇りに感じています。全国から医療経営士の皆さんに数多くご参加いただき、医療機関の経営力の向上や課題の改善に貢献できる大会になりますように、鋭意準備を進めてまいります。

次の診療報酬改定は医療界にとって大きな転換期になると実感し



昨年度大会で閉会の挨拶を行った橋爪章氏。今大会では大会運営委員長のほか、経営士による演題発表では進行役も務める

ています。社会保障制度改革国民会議の報告書により、「21世紀(2025年)日本モデル」の社会保障ビジョンが掲げられ、「待った無し」と言ってもよいでしょう。ゆっくりと進んでいた船が、急にスピードを上げるような状態です。

これまで医療界は、制度改定に際し、政治力で不利な施策の実施を先延ばしにしてきた感があります。しかし、今度改革を現実のものとして受け止め、改革のなかでどのような動いていくかを考えなければなりません。今回の「全国医療経営士実践研究大会」では、その提言ができればと思います。医療経営士の皆さんには時代のにおいをかぎ取り、活発な意見交換をいただきたいと思っています。

医療界はこれまで、当事者が孤軍奮闘で情報を集め、方向性を見極めきれず悶々としていた状態だといえます。「医療経営士」の資格ができたことにより、全国実践研究大会や各支部の研究活動を通じて、フェイス・トゥ・フェイスで密に情報交換ができるようになったのは、大変良

“楽しみどころ”満載! 九州最大都市・福岡の魅力

福岡は古くから朝鮮半島や中国大陸に開かれた国際交流都市として繁栄した町です。博多港に到着した外賓をもてなす迎賓館「鴻臚館(こうろかん)」をはじめ、2014年の大河ドラマで描かれる黒田官兵衛ゆかりの福岡城跡、崇福寺など寺社・仏閣も多くあり、歴史の息吹を感じることができます。また、九州最大都市でありながら、福岡空港から都心部まで地下鉄で5～10分、主要観光地まで20～30分で移動でき利便性も抜群。大宰府天満宮や九州国立博物館のある観光都市・大宰府へ足を延ばしても、天神から電車で揺られること30分で行くことができます。

そして、旅の醍醐味はなんとと言っても“食”。福岡の夜を彩る名物・屋台は終戦直後、簡素な移動式飲食店がその始まりといわれます。ラーメンや焼き鳥、餃子、てんぷらなどメニューも豊富で、現在も福岡市内に約150軒が営業しています。のれんをくぐれば客と店主、客同士のコミュニケーションも楽しみの一つです。

人情味あふれる博多っ子もてなす町・福岡にぜひ、来てみんね!



写真提供: 福岡市

いことだと感じています。これらの活動を通じて、時代を先読みできるようなること、医療界にとって大きな恩恵を与えることにもなるでしょう。そのためにも、医療

経営士は医療界に欠かせない、重要性を持つ存在だという認識を醸成していかなければいけません。「医療経営士がいる病院は的確に時代の流れに乗っている」という状況をつくっていく必要があると考えています。医療経営士各自がアンテナを高く、広く持ち、的確な情報を収集し、情報を高め、各自の現場で実践する。このように繰り返しが、医療経営士の価値を高めていくのだと思います。

今回の全国実践研究大会では、地域医療を担う病院経営者の方々による講演やシンポジウムも開催いたします。2025年に生き残るだけでなく、地域に不可欠な存在となるための戦略についても、示唆に富んだお話をいただける予定です。

「医療大改革時代にどのように動くべきか」。今回の全国実践研究大会は、医療経営士として今後活躍していくうえで、必要不可欠な情報が得られる大会にいたします。

皆様と福岡でお会いすることを楽しみにしております。

後期いよいよ開講!! 医療経営士2級の方々を中心とした報告・議論・講読の空間

医療経営士2級フォーラム21 Vol.7 『最新医療経営 フェイズ・スリー』塾 開講! 塾生募集中!!

開催日時	テーマ
第1回 10月17日(木)	[全体最適]を追求する病院づくり
第2回 12月19日(木)	病床機能分化と連携はこうすればうまくいく(予定)
第3回 2014年1月16日(木)	医療・介護はこうなっていく! 地域のランドデザインを描こう(予定)
第4回 2月20日(木)	2040年 病院はこうなっている!(予定)
第5回 3月20日(木)	検証 2014年度診療報酬改定(予定)

*各回ゲストスピーカー参加予定
講義・講読:19:00~20:00
食事・ディスカッション・質疑応答:20:00~20:50

講師	吉澤 理(株式会社日本医療企画「最新医療経営フェイズ・スリー」編集長)
場所	日本医療企画5階セミナールーム
定員	30人
受講料	医療経営士2級(本会会員):3,000円 医療経営士3級(本会会員):4,000円 医療経営士2級合格者(非会員):5,000円



第1回(10月17日開催)の教材『最新医療経営フェイズ・スリー』2013年9月号
特集:リーダーの意識改革から始まる「全体最適」を追求する病院づくり

*テーマ、使用教材は都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

代表世話人に日医リース猪狩氏が決定!

支部研究会の地域偏在解消に向けて
関東支部宮城・仙台研究会が動き出す!

関東支部では宮城・仙台地域における会員同士の親睦と研鑽を目的として、宮城・仙台研究会を設立準備中だ。そこで今回は、代表世話人に就任した日医リース仙台支店支店長の猪狩知博氏に、今後の目標と意気込みについてうかがった。

私が勤める日医リースは医療介護福祉分野を専門とするリース会社として、約1万7,000件の医療機関と取引をさせていただいています。リース会社というリースだけを行う会社と思われませんが、当社では単純な機器のリースにとどまらず、コンサルティングや新たな事業提案なども行っており、毎年500件以上の医療機関の開業のお手伝いをさせていただいています。そのため、営業スタッフにはリースする製品やサービスに関する幅広い知識はもちろん、医療機関の経営についての基本的な知識も求められます。医療経営士の勉強をしようと思ったのは、こうした知識の習得が目的であり、会社を挙げて研鑽してきた結果、当社には現在、医療経営士3級68人、2級6人の認定試験合格者がいます。

私自身は宮城県・山形県・福島県の3県を担当する仙台支店の支店長として、新しい顧客の開拓や部下のマネジメントを行っているのですが、組織マネジメントに関する知識を得ることができるといっても資格を取得してよかったと感じています。

もうひとつ医療経営士の大きな魅力は各支部における研究会活動です。医師や看護師などの医療従事者をはじめ、事務職といった経営スタッフ、そしてわれわれのような医療関連企業が一堂に会し、そこで医療経営に関する知識を学ぶとともに、それぞれが持っている専門性や知恵を持ち寄って、日々の業務改善や地域医療のあり方で、さまざまなことについて議論し、参加者同士が切磋琢磨しながら互いに高め合い、地域医療の最適化にもつなげることができる、非常に魅力的な場であると思います。残念ながらこれまで東北地方には支部がなかったため、支部活動も行われていませんでしたが、このたび私が代表世話人を拝命し、関東支部宮城・仙台研究会として宮城・仙台地域における支部活動のお手伝いをさせていただくことになりました。身にあまる重責ではございますが、職務を全うさせていただく所存です。

研究会ではさまざまなことに取り組んでいきたいと考えていますが、最初にしたいのは東北地方における医療経営士のネットワークをつくることです。医療経営士、特に医療機関に所属する医療



株式会社日医リース仙台支店支店長
猪狩知博氏

経営士をつなげることで、地域の医療連携の促進にも貢献できるのではないかと考えているからです。直接医療提供する側の人間ではありませんが、地域医療に貢献したいという気持ちは医療従事者の方々と同じです。

参加した人たちに「良かった」「また参加したい」と言ってもらえるようなネットワークづくり、研究会活動を展開していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

北陸支部 研究会レポート

医療職・介護職のそれぞれの視点を理解し
「医介連携」実現のための“実践力”を養う

北陸支部では、全4回の医療経営士・介護福祉経営士*合同研究会を開催している。その目的は、医介連携実現に必要な、医療側・介護側双方の視点を身につけること。

“地域連携”とは名ばかりで、医療職から見れば「介護のことは、よくわからない」、介護職から見れば「医療は敷居が高い」と、お互い歩み寄れないケースが多い。そこで、本研究会では医療・介護それぞれの立場の職員が参加し、お互いを知ること、連携を阻む“壁”を打ち破る契機とすることを狙っている。

第1回となる「医介共働/連携①『お互いを知る』医療保険・介護保険制度概要」は7月17日に富山県高岡市で開催した。講師は、医療法人社団仁志会理事で、社会福祉士・介護支援専門員の田中大悟氏が務めた。同氏はまず医介連携を行ううえで、



シリーズ2回目の研究会は石川県で開催。石川・富山チームに分かれ、グループワーク形式で意見を出し合った

医療者が理解すべき介護保険制度のポイントを解説。「介護保険はひと月の支給限度額が決まっているが、医療保険は限度額がない」と強調。それを理解したうえで、デイケアとデイサービスなど、各サービスの違いを知ることが重要と述べた。

8月28日にはシリーズ第2回目の研究会「医介共働/連携②『地域を知る』地域を知り課題抽出」が、石川県金沢市で開催された。講師は前回に引き続き田中氏が務めた。約10人の参加者は「石川」「富山」グループに分かれ、①医療、②介護、③介護予防、④生活支援、⑤住まい——の5つの視点で、地域資源を出し合った。その結果、①では「入院ベッド」「医療機器(材料)」、②では「介護サービス事業所」「通院補助サービス」など、③では「健康推進員」「スポーツクラブ」、④では「行政機関」「老人クラブ」、⑤では「空き家」などが挙げられた。

続いて、それら挙げられた項目に対して参加者より「各サービスにつなげる人材・仕組みが必要」「地域資源は医療機関だけでは収まらない」などの意見が出された。これに対し田中氏は、「介護サービス事業所と言っても、その形態はさまざま。具体的なサービスまで深掘りして、地域資源を抽出すべき。そこまで分析しなければ実態はつかめない」と指摘した。

富山県で開催したシリーズ第1回の研究会参加者は医療経営士が中心。「地域包括ケアにおける医療・介護の在り方を体系的に学びたい」と意欲的だった



次に、同氏は自らの法人のある石川県小松市の介護資源を分析したデータを紹介。日常生活圏ごとに、各事業所の名称、専門職の数まで把握している。参加者はそのデータから得た“気づき”を順番に発表、表のような意見が挙がった。

最後に参加者には、次回(10月16日開催予定)までに、今回学んだ手法を用い、自事業所地域の医療・介護資源を分析するという課題が出された。

シリーズ研究会の第3回目のテーマは「『プランニング』課題解決の戦略をたてよう」。医療経営士、介護福祉経営士として、いかに地域の実情を理解し、医介連携に貢献できるか。方策を探っていく。

表 石川県小松市の介護資源データに対する気づき

- ①競合サービスが多い⇒内容を分析する必要がある
- ②訪問系の事業所数が少ない
⇒在宅で高齢者を見る体制は構築できているか?
- ③高齢者人口に対して事業所の数がマッチしているか?
⇒国の施策と一致しているか?
- ④訪問リハビリのセラピストが充実していない
- ⑤地域としての課題(問題点)が抽出できていない
⇒行政・事業所双方で問題点を把握する
- ⑥小規模多機能・夜間対応型訪問介護が少ない
⇒国の方針と一致していない

*介護福祉経営士：介護福祉経営に関して多岐にわたる知識を習得し、現場で広くその知識・経験を発揮できる専門職。一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が認定。



協会事務局からのお知らせ

第1回「医療経営士1級」資格認定試験の
第一次試験が終了!
第2回「全国医療経営士実践研究大会」の
参加も引き続き受付中です!

残暑もようやくやわらぎ、過ごしやすい季節となりましたが、医療経営士の皆様はいかがお過ごしでしょうか?

10月20日の2級試験を受験される方は、いよいよラストスパートですね。お忙しいなかでの勉強は大変かと存じますが、全力でのチャレンジを期待しております。

さて、まずはその10月20日実施の第10回「医療経営士3級」と第6回「医療経営士2級」資格認定試験の受験申込者が、いずれも過去最高となったことをご報告いたします。詳細は改めてご報告いたしますが、「医療経営士」の注目度がますます高まっていることは間違いなく、これも会員の皆様の日頃のご活躍があつたことと、事務局一同感謝いたしております。

また、9月8日には第1回「医療経営士1級」資格認定試験の第一次試験も無事終了し、11月1日の可否発表に向けて、現在採点作業が進んでおります。

第2回「全国医療経営士実践研究大会」につきましても、ポスターならびにパンフレットが完成し、11月16、17日の開催当日に向けて事務局のムードも高まってきています。初めての地方開催ということもあって、地域性を前面に打ち出した個性的なイベントになること請け合いです。多くの会員の皆様の参加エントリーをお待ちしています。

それではまた次号でお会いいたしましょう。

12月6日(金)
前記期限内に更新申請を完了した会員には、来年1月中旬に新たな認定証が発行される。

初回となる今回の更新の具体的な課題内容およびスケジュールは以下のとおり。

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

参加者募集中!! 日本医療経営実践協会 地域支部研究会
医療経営士のネットワークづくり、仲間づくりのチャンス! ふるってご参加を。詳細は協会ホームページをご覧ください。

支部	日時	テーマ	講師	場所	事務局
関東支部	10月5日(土) 13:00~16:00	医療経営士だからできる 災害に負けない病院づくりポイント整理講座【第2回】	浅野睦氏(株式会社フォーサイトコンサルティング代表・リスクマネジメント協会理事)	サニー貸会議室	日本医療企画関東支社 (緑川、☎03-3256-2885)
北陸支部	10月16日(水) 16:00~19:00	医療経営士・介護福祉経営士合同研究会 医介共働/連携「プランニング」【第3回(全4回)】	田中大悟氏(医療法人仁志会理事・社会福祉士・介護支援専門員)	ウイングウイング高岡 6階特別会議室	日本医療企画北信越支社 (二口、☎076-231-7791)
東海支部	10月12日(土) 研究会 14:00~ 懇親会 18:30~	【第1部講演】2013年在宅医療の今~2025年超高齢社会に向けて~ 【第2部ワークショップ】TTP みんなで話せば怖くない?? 【第3部名古屋医療マネジメント研究会と共同開催】	【第1部】杉浦立尚氏(笑顔のおうちクリニック名古屋院長) 【第2部】米本倉基氏(藤田保健衛生大学准教授/日本医療経営実践協会東海支部事務局長)	協和ケミカル株式会社 本社6階会議室	日本医療企画中部支社 (星、☎052-209-5451)
関西支部	10月26日(土) 14:00~17:00	医療・介護現場でのフレーム対応(後編)	鷹取敏昭氏(人事マネジメント研究所進創アシスト代表・社会保険労務士・人事コンサルタント・医療経営士)	新日本有限責任監査法人大阪 事務所セミナールーム	日本医療企画関西支社 (斎藤、☎06-7660-1761)
九州支部	10月12日(土) 13:00~15:00	次期診療報酬改定の行方を読む-1	橋爪章氏(保健医療経営大学学長/日本医療経営実践協会九州支部支部長)	日本医療企画九州支社 セミナールーム	日本医療企画九州支社 (杉安、☎092-418-2828)

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

「読者の声」を募集!

MMS ニュースでは、「読者の声」を募集いたします。会員の皆様から本紙掲載記事や協会活動に関する建設的なご意見、ご提案を頂戴し、当協会の活動に反映させることを目的としたものです。つきましては、E-mailにて、ご意見をお寄せください。また、本紙で今後取り上げてほしいテーマなどについても、会員の皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。なお、読者の皆様からのご意見は、本紙に掲載させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。掲載の場合のお名前(本名やペンネームなど)をご指定ください。

■送付先 info@jmmpa.jp
(一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 「読者の声」係宛)

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)

●開催場所
都久志会館(福岡市)

●開催日程
2013年11月16日(土)・17日(日)

●課題
指定課題図書(「医療経営白書2012年版」)または「医療経営白書2013年版」(いずれも日本医療企画刊)を精読したうえで、もっとも参考になった文章を40文字程度で引用し、それに対する意見を800文字程度で述べる。

●更新書類受付開始
10月7日(月)

●更新書類締め切り
10月7日(月)